



週報

■1月は、『職業奉仕月間』

第1507回例会 2017年1月18日 Vol.32/No.25

■本日の例会／第1508回 平成30年1月25日(木)

- 会長・幹事報告
- 各委員会報告・各委員長
- 例会終了後 夜間例会(新年会)
- ホテルメリージュ

【出席率状況報告】

- ・会員数……………53名
- ・出席者……………30名
- ・欠席者……………23名
- ・出席率……………58.82%
- ・12/21の修正出席率・79.25%

■会長挨拶



田中 寿 会長

今月は職業奉仕月間です。ロータリーに入って、皆さんが一番難しいと思われるものの一つが『職業奉仕』という言葉だと思います。正直、私など全くとっていいほど解っていません、いろいろな勉強会に顔を出してみても、先輩方のそれぞれが描く職業奉仕と言う者が数多あって、ますます解らなくなってしまう様な気がしております。

(ボケーショナル・サービス)と言う文言が職業奉仕と言う日本語訳になったのか、此処に私たちが解りにくく感じてしまう原因があるように思えます。

はっきり言ってSERVICE(サービス)という言葉に奉仕と言う日本語を当てたのは、当時から最近まで日本でサービスというと、無料で・おまけみたいな感覚しかなかったわけでそういった意味から奉仕と言う日本語訳になったのではないかと感じられます、実際に辞書には(奉仕)と書いてあるようですが、実際の意味合いは少し違う様な気がします。

日本人が言うサービスは、無料で・・・と言う意味合いが強く、英語でのサービスは、有料で労役を提供するという感覚のようです。

本題に戻って、RCにおける職業奉仕とはと言うと、マイ・ロータリーを見ると、一番解りやすかったのは、

- ① 例会などで会員がそれぞれの職業について語りお互いの職業について学ぶ
- ② 地域社会での奉仕活動にそれぞれの職業スキルを活かす
- ③ 高潔の精神で仕事に取り組み、言動を通じて模範を示し倫理的な行動を促す
- ④ 若者のキャリアを支援する
- ⑤ 専門能力の開発を奨励し指導する

この様に書かれた点でした。職業奉仕を唱えた

アーサーFシェルドンは経営学を学んでいたためか、その内容は経営学ともいえるもので、四つのテストにも歌われている様に職業上の真っ当さを説いたものの、基地イント商売をしながらお客様にも有益である事、そして商売上も有益である事、まじめに商いをしなさいよ、そしてあなたのそのスキルや職業上の考え方をもち、地域や社会に貢献するようにと言う取り方でいいのではないのでしょうか？

最近の、(てるみクラブ)や(はれのひ)などのような事件が話題になっていますが、彼らが毎日(四つのテスト)歌っていればこんなことにはならなかったのかもしれないね(笑)

■幹事報告

生駒俊明 幹事



※「書きそんじハガキ・キャンペーン2018」へのご協力お願い

例会時に書きそんじハガキをお持ち下さい。〆切2月末日

※案内(再度)IMのご案内2月17日(土)

※佐土原ロータリークラブ

創立30周年記念式典・祝賀会の案内

日時 平成30年2月25日(日) 11:00~15:00

場所 シーガイア・コンベンションセンター

※日韓RA親善交歓会(ご案内)

日時 平成30年2月3日(土) 17:30~20:00

場所 いきいき交流センター国分

※「第19回ロータリー国際囲碁大会」開催のご案内

日時 平成30年4月22日(日) 9:30~

会場 日本棋院会館本院

■会員卓話



坂本弘史 会員

文久元年(1861年)2月24日、高鍋藩家老の父秋月種節(たねよ)と久子の四男として、日向国高鍋(現・宮崎県児湯郡高鍋町)で生まれた。明治元年、母方の大叔父鈴木翔房(たかふさ)が七五歳で没し、その養子鈴木衛房(もりふさ)も戊辰戦争に加わり、27歳で戦死した。翌2年、馬左也は鈴木家再興のため、戦死した衛房の養子となり同家を継いだ。明治9年宮崎学校(現、宮崎大学教育文化科学部)を卒業し、同年金沢の啓明学校(現、金沢大学)へ入学したが翌年退学して、11年から東京帝国大学予備門に入学し明治20年、27歳で東京帝国大学を卒業すると内務省に入り、22年愛媛県書記官として赴任した。

翌年別子銅山開坑200年祭に来賓として新居浜に招かれ、住友との最初の出会いをはたす。明治29年1896年、農商務省参事官を退官し、住友に入社、大阪本店の副支配人となる。明治32年(1899年)別子鋳業所支配人となる。1904年、伊庭貞剛の別子大造林計画を継承し、当時珍しかった森林計画を策定。別子大水害後の復旧に努めた。大正6年(1917年)から北海道北見市から、宮崎県椎葉村まで山林事業を起こし、また朝鮮の国有林にまで植林を敢行。これは後の住友林業の源流となった。大正2年新居浜の煙害問題解決のひとつとして住友肥料製造所(現、住友化学)を設立した。明治37年(1904年)第三代総理事に就任。明治44年住友電線製造所(現、住友電工)を設立。明治45年には伸銅場(現、住友金属・住友軽金属)で継ぎ目なし銅管の製造に着手し、海軍の復水管需要に応える。大正2年(1913年)住友肥料製造所(現住友化学)を設立し、同8年大阪の臨海工業地帯建設のために大阪北港(後の、住友上地公務)を設立した。さらに同年、別子鋳山の電源開発を目的に土佐吉野川水力電気(後の住友共同電力)、宮崎県の椎葉植林に関係して耳川の水利権を確保した。これらが現在の四国・九州電力発足の遠因となる。大正7年日米板硝子(現、日本板硝子)を設立、同九年日本電気へ資本参加した。また1921年には住友本店を合資会社に改組するなど、住友の発展の大いに貢献した。

井上真由美 会員



今日は最近読んだ本で「吉本せい お笑い帝国を築いた女」の話をしてします。

大阪、そして日本の演芸文化をリードする企業、吉本興業の創業者吉本せい(せい)は、明治22年(1889)米穀商を営む林豊次郎の三女として生まれました。大阪天神橋筋の喧騒のなかでたくましく育った彼女は「北浜の怪物」と呼ばれる大物商人のもとに11歳で女中奉公に出され、その後も大阪を代表する商人の鴻池家にも上がり、その中で小言を言われてこきつかわれながら、大阪商人独特の「始末」を体にたたきこまれます。6年間の奉公の後、明治40年(1907)18歳のせい(せい)は、荒物問屋箸吉の跡取り息子の吉本泰三と結婚します。温厚だが演芸や花街での遊びを好む夫、2年後には家業は廃業の憂き目にあい、そこで夫婦が新たに乗りだしたのは、夫の大好きな演芸の世界、寄席の経営でした。明治45年から4軒、次々と小さな寄席を買収し、大正4年に一流どころの寄席、ミナミの金澤亭を買収、「花と咲くか月と陰るかすべてを賭けて」という意味で「南地花月」と名を改めます。そして南地花月を頂点に吉本興業部が経営する寄席にはすべて「花月」の名が付けられるようになりました。演芸が市民層に浸透し、吉本興業部の経営は順風満帆、せいの実弟である林正之助も入社し、興行を切り盛りし、他の寄席や演芸場を買収し、ついには上方落語界随一の人気者、桂春團治と専属契約を結ぶまでになりました。そんな矢先、夫の泰三が突然死してしまいます。(せい35歳)

泰三が亡くなった翌年、大正14年(1925)東京、大阪、名古屋の三都市でラジオ放送が開始されます。そして落語家たちがラジオに出演するようになり、寄席の新たな目玉として「漫才」が誕生します。吉本の人気コンビ「エンタツ・アチャコ」は一世を風靡しました。演芸の市場が拡大しライバル会社との戦いが激しくなるなか、せい(せい)は大阪のシンボルの買収を決めます。(通天閣、買収価格が25万円、一説には31万円ともいわれる)

昭和12年に始まった日中戦争以後「笑い」は不謹慎とされ寄席や演芸場は休業に追い込まれてしまいます。

太平洋戦争末期には大阪の市街地は空襲を受け

発行/ 宮崎中央ロータリークラブ

●事務局 〒880-0804 宮崎市宮田町10-25 宮田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288
●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30~13:30)
会長/田中 寿 副会長/山川 力 幹事/生駒俊明

焼け野原となってしまいました。しかしせいは興行師としての意地をみせ、「笑都」の復興をめざして再び立ち上がります。

「笑えない辛い時代や、笑えない人々がぎょうさんおる。だからうちらが笑わしてやらなあかんのや」

終戦から約2カ月後の10月11日、大阪に残っていた漫才師たちを千日前の常盤座に集めて興行を再開しました。

出席委員会報告

山川 力 副会長



◆12/21メイクアップ者名

(敬称略)

井上真由美、黒木陽子、
新地康宏、三輪修珍、
湯浅敏幸、志戸本和孝

ハッピーボックス (敬称略)

●松山春喜…1月10日、39回目の結婚記念日でした。お花を届けて頂き有難うございました。動物園でフラミンゴの調教をしていた頃の妻の姿が少しだけ脳裏を横ざりました。決して今と比較はしません。

●平松 寛…昨年9月に再婚しました。年の差20才で相手は初婚です。古希を迎え、ここ2～3年入退院が多くなり困ってましたし、相方には、苦勞をかける事になります。火曜日16日には有志の皆さんに「祝う会」を催していただき、大変有難うございました。御参加頂いた会員各位に感謝申し上げます。宮崎中央RCに入会して24年。一番の感激でした。

◆ビジター



水居 徹 様 (宮崎RC)

■1月18日の例会「年男年女スピーチ」



日高淑晶 会員

年男としてご挨拶させていただきます。

わたしは昭和45年9月生まれで、今年48歳になる乙女座です。

この乙女座というのは、生まれた日に地球からみて、

どこに太陽が位置していたかで決められます。わたしの場合、乙女座の位置に太陽があり、乙女座のパワーを太陽がうけて、ロマンティストな性格であるとか、星占いに出るわけです。惑星は太陽だけでなく、水星、金星、火星、木星等々あります。それぞれの惑星も、生まれたときに、別々の星座に位置していたわけです。今回は年男でお話をさせていただきますので、12年に1度回ってくる干支にちなんで、同じく12年をひとつの周期として回っている木星について考えてみます。その木星が2017年10月を過ぎて、さそり座の場所へ移動してきました。信じるか信じないかは別として、さそり座は欲望を叶えてくれるパワーがあるのだそうです。それも現実に即した欲望をよく叶えてくれる。ということで、それにあやかっ、わたしは本を出したり、講演活動を行ったりという願望を叶える年にする!と決めました。

現実に即した欲望ということですので、現在わたしの行っている、「在宅医療」を中心に社会に訴えていきたいと思っております。また、昨年、自分の価値観を見つめ直す経験をしました。そのなかではっきりしたのは、周囲への感謝、そして運命、自分の天命というものを重要な価値観としていることを自覚しました。

そこから、自分の「使命」はなんだろうか?と導きだします。こっぴどかしさをこらえて宣言させて頂くと「私は社会のリーダーであり、社会にひとつの指針を指し示す」「私には天命があり、それを行う覚悟がある」と考えております。

そうたいそうなことができるとは思っておりませんが、在宅医療の現状を鑑み、わたしに求められているものは何かと自問すると、通常の在宅医療ではない、最期まで望みを持ちながら家で過ごしたい、という方を支えることなのではないかと考えました。

また、人はなんのために生きるのか?

これも私は「自分が幸せになるために生きる」と考えています。

決して「自分だけがよければいい」というエゴイズムではありません。利他の精神で、「人が喜んでくれることが自分の幸せ」の考えで日々充実して過ごせることが人間としての幸せではないかと思うのでゆるさず。

そんなことも世の中に問うてみたいと思っております。

青臭いと思われるかもしれませんが、突っ走ることも若さ故に許される特権ではないかと考えております。

今年もご指導ご鞭撻のほどお願い致します。

発行 / 宮崎中央ロータリークラブ

●事務局 〒880-0804 宮崎市宮田町10-25 宮田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288

●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30~13:30)

会長/田中 寿 副会長/山川 力 幹事/生駒俊明